

令和3年度



有志竟成

浜松市立北浜中学校
学校だより
令和3年7月8日

校訓：志を強くもってことにあたれば竟には成しとげられる

東京オリンピック・パラリンピックに関わる情報が連日報道され、開会予定日が近づいています。主催する・参加する・支援する・報道する・・・又反対するも含め、それぞれの組織や人が、それぞれの置かれた立場の中で、何が正しいあり方（最適解）なのかを考え、判断し、発言・行動しているように思います。何事も結果で評価されてしまうことが多い世の中ですが、安全・安心が確保された中で、無事にすべてが進められることを望まない人はいないのではないのでしょうか。学校の教育活動においても、子ども達のワクチン接種の展開が気になるところですが、関係するすべての人たちの立場を尊重しつつ、一つ一つしっかり考え、判断し、実行していければと思います。よろしくお願い致します。

校長 渥美 竜三

「生き方を考える『未来授業』」

様々な業種で活躍されている地域の皆さまが、自分の経験や想いを伝えながら、子ども達の未来を考えるきっかけをつくる『未来授業』を2年生で実施しました。

＜参加業種＞

理・美容業 歯科医師 カメラマン
自衛隊 飲食業 染色業 葬祭業
動物看護師 社会保険労務士・・・等

それぞれの仕事内容の話はとても興味深かったですが、話をする姿や一つ一つのことばから、人としての有り様を感じることができたのではないのでしょうか。これからの生き方はもちろん、ものごとに対する取組方についてのヒントを得る時間にもなったと思います。



今回の取組は、CS（コミュニティ・スクール）が目指す「地域や様々な立場の人たちと共に進める学校運営：教育活動」でもあります。来年度の導入に向け、今後も御協力をお願いします。

「日本一幸せな学校とは・・・？」

本校の合い言葉は、「日本一幸せな学校を創ろう」です。先日、生徒会が主催し、全校生徒で「日本一幸せな学校」についての話し合いを行いました。1年2年3年の縦割りグループをつくり、3年生がまとめ役になりながら、「日本一幸せな学校」をイメージしていきました。



何を幸せと感じるのか、考えるのかは、人によって違いがあると思います。各人が考える「日本一幸せな学校」をそれぞれ出し合い、答えが一つではない「日本一幸せな学校」をグループでイメージしていく。今言われている、主体的・対話的で深い学びや協働的な学びを実践する、とても意味のある時間になったと思います。自分の考えをしっかりと持つ、自分と違う他の考えをしっかりと受け止める、互いの考えを尊重しながらまとめていくというような場を、通常の授業を含め、今後も増やしていけるといいなと感じました。